

学校コード F116110105312

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前相談

注2

富山大学大学院 総合医薬学研究科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人富山大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部 企画評価課

職名・氏名 事務職員 柳瀬 かおり

電話番号 076-445-6241

（夜間） 076-445-6241

e-mail sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

総合医薬学研究科

＜総合医薬学専攻＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	49
7. その他全般的事項	50

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名

富山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒930-0194
富山県富山市杉谷2630番地
(〒930-8555
富山県富山市五福3190番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(サイトウ シゲル) 齋藤 滋 (平成31年4月)		
研究科長	(サカイ ヒデキ) 酒井 秀紀 (令和4年4月)		
副研究科長	(セキネ ミチカズ) 関根 道和 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履状状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
総合医薬学研究科 総合医薬学専攻 修士（医科学） 修士（看護学） 修士（薬科学）	医学関係 薬学関係 保健衛生学関係 （看護学関係）	2 年	66 （うち、総合医薬学専攻から 医薬理工学環の内数とする入 学定員 8人）	年次 編入	132 （うち、総合医薬学専攻から 医薬理工学環の内数とする収 容定員 16人）	新規入学者を 募集中	基礎となる学部 医学部 薬学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	58 (-) [若干名]	() []	0.7倍	1倍	※本表の 人数は、 医薬理工 学環への 拠出分を 除いた人 数である。
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	47 (-) [4]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	46 (-) [3]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	45 (-) [3]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	41 (-) [3]	() []			
入学定員超過率 B/A									0.7				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	41 [3] (-)	[] ()	※本表の人数は、医薬理工学環への拠出分を除いた人数である。
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- [-] (-)	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	41 [3] (-)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	41人	0人	平成30年度	-人	-人	
			令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合医薬学研究科 総合医薬学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	研究倫理	13>13	1									4
	科学技術と持続可能社会	13>13	1			1						8
	地域共生社会特論	1②		1								1
	研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用	1②		1		3						3
	アート・デザイン思考	12>14		1								6
	英語論文作成 I	13>13		1								2
	英語論文作成 II	12>14		1								2
	データサイエンス特論	13>13		1		1	1					6
	大学院生のためのキャリア形成	13>13		1								2
	知的財産法	12>14		1								3
小計(10科目)		—	2	8	0	5	1	0	0	0	0	31
研究科共通科目	総合医薬学	1①	1			4						
	臨床研究の計画法	1④		1		4	1					
	解剖生理病態学序論	1③		1		2	2		1			
	解剖生理病態学特論	1④		1		1		1				
	病態薬理学序論	1③		1		1			3			
	病態薬理学特論	1④		1		1			3			
	心身健康科学	1①		1		2						1
	日本語・日本文化	13>23&13			2							1
小計(8科目)		—	1	6	2	14	3	1	4	0	2	
先端医科学プログラム科目	【プログラム専門科目】											
	基礎臨床医科学概論	1①	1			7	6	3				
	社会医学序論	1①	1			3	2					
	社会医学特論	1②	1			3	2					
	生体防御医学序論	1③		1		2	1					
	生体防御医学特論	1④		1		2	1					
	分子ゲノム医科学序論	1①		1		2	3		1			
	分子ゲノム医科学特論	1②		1		2	3		1			
	中枢神経遺伝子工学序論	1①		1		1	2					
	細胞内シグナル伝達系序論	1②		1		1	2					
	中枢神経薬理学序論	1③		1		2	1					
	臨床行動科学序論	1①		1		3	1	2				
	臨床行動科学特論	1②		1		3	1	2				
	病態検査医学序論	1③		1		1						
	病態検査医学特論	1④		1		2						
	感覚・運動・脳病態学序論	1③		1		5	3	2				
	感覚・運動・脳病態学特論	1④		1		5	3	2				
	東洋医学序論	1③		1		1						
	東洋医学特論	1④		1		3	2	1				
	高度先進医療実践学序論	1③		1		4	1					
	高度先進医療実践学特論	1④		1		6	1					
	救急蘇生学序論	1①		1		1						
	救急蘇生学特論	1②		1		1						
	災害危機管理学序論	1①		1		1						
	災害危機管理学特論	1②		1		1						
先端医科学特別研究	1~2通	10			33	13	8					
小計(25科目)		—	13	21	0	35	19	8	1	0		
看護科学プログラム科目	【プログラム共通科目】											
	[A群共通科目]											
	看護研究	1①②		2		1	3					1
	看護倫理	1①②		2		1						
	コンサルテーション論	1③④		2		1						
	看護管理論	1③④		2		1	1					
	看護教育論	1③④		2		1	1					
	看護理論	1③④		2		1	1					
	看護政策論	1③④		2		1						
	小計(7科目)		—	0	14	0	5	5	0	0	0	1
	[B群共通科目]											
	病態生理学	1①②		2		3	1					
	臨床薬理学	1③④		2		1	1					
	フィジカルアセスメント	1①		2		2						1
臨床推論 I	1①		2		1						1	
救急看護演習	1①		1		2						1	
健康生活研究計画法	1③		1		1							
小計(6科目)		—	0	10	0	4	5	0	0	0	2	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	研究倫理	13>13	1									4
	科学技術と持続可能社会	13>13	1			1						8
	地域共生社会特論	1②		1								1
	研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用	1②		1		3						3
	アート・デザイン思考	12>14		1								6
	英語論文作成 I	1③		1								2
	英語論文作成 II	1④		1								2
	データサイエンス特論	1③>13		1		1	1					6
	大学院生のためのキャリア形成	13>13		1								2
	知的財産法	12>14		1								3
小計(10科目)		—	2	8	0	5	1	0	0	0	0	31
研究科共通科目	総合医薬学	1①	1			4						
	臨床研究の計画法	1④		1		4	1					
	解剖生理病態学序論	1③		1		2	2		1			
	解剖生理病態学特論	1④		1		1		1				
	病態薬理学序論	1①		1		1			2			
	病態薬理学特論	1②		1		1			2			
	心身健康科学	1①		1		2						1
	日本語・日本文化	13>23&13			2							1
小計(8科目)		—	1	6	2	14	3	1	3	0	2	
先端医科学プログラム科目	【プログラム専門科目】											
	基礎臨床医科学概論	1①	1			7	5	3				
	社会医学序論	1①	1			3	2					
	社会医学特論	1②	1			3	2					
	生体防御医学序論	1③		1		2	1					
	生体防御医学特論	1④		1		2	1					
	分子ゲノム医科学序論	1①		1		2	3		1			
	分子ゲノム医科学特論	1②		1		2	3		1			
	中枢神経遺伝子工学序論	1①		1		1	2					
	細胞内シグナル伝達系序論	1②		1		1	2					
	中枢神経薬理学序論	1③		1		2	1					
	臨床行動科学序論	1①		1		3	1	2				
	臨床行動科学特論	1②		1		3	1	2				
	病態検査医学序論	1③		1		1						
	病態検査医学特論	1④		1		2						
	感覚・運動・脳病態学序論	1③		1		5	3	2				
	感覚・運動・脳病態学特論	1④		1		5	3	2				
	東洋医学序論	1③		1		1						
	東洋医学特論	1④		1		3	2	1				
	高度先進医療実践学序論	1③		1		4	1					
	高度先進医療実践学特論	1④		1		6	1					
	救急蘇生学序論	1①		1		1						
	救急蘇生学特論	1②		1		1						
	災害危機管理学序論	1①		1		1						
	災害危機管理学特論	1②		1		1						
先端医科学特別研究	1~2通	10			33	12	8					
小計(25科目)		—	13	21	0	35	18	8	1	0		
看護科学プログラム科目	【プログラム共通科目】											
	[A群共通科目]											
	看護研究	1①②		2		1	3					1
	看護倫理	1①②		2		1						
	コンサルテーション論	1③④		2		1						
	看護管理論	1③④		2		1	1					
	看護教育論	1③④		2		1	1					
	看護理論	1③④		2		1	1					
	看護政策論	1③④		2		1						
	小計(7科目)		—	0	14	0	5	5	0	0	0	1
	[B群共通科目]											
	病態生理学	1①②		2		3	1					
	臨床薬理学	1③④		2		1	1					
	フィジカルアセスメント	1①		2		2						1
臨床推論 I	1①		2		1						1	
救急看護演習	1①		1		2						1	
健康生活研究計画法	1③		1		1							
小計(6科目)		—	0	10	0	4	5	0	0	0	2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎薬学プログラム科目	【プログラム専門科目(序論)】											
	薬学経済序論	1①	1			4						1
	分子化学序論	1③		1		1	1					
	生物物理学序論	1③		1		3	4					
	薬理薬剤学序論	1②		1		6						
	分子細胞生物学序論	1①		1		2	2					
	応用天然物化学序論	1③		1		3						
	応用和漢医薬学序論	1③		1		3	2					
	小計(7科目)	—	1	6	0	17	11	0	0	0	0	1
	【プログラム専門科目(特論)】											
	分子化学特論	1④		1		1	1					
	分子設計学特論	1④		1		1	1					
	生物物理学特論	1④		1		3	4					
	薬理学特論	2①		1		3	2	1				
	薬物動態学特論	2①		1		4						
	分子生理学特論	1③		1		1	1					
	遺伝子応用分析学特論	2②		1		2	3					
	分子細胞生物学特論	2②		1		2	2					
	応用天然物化学特論	2②		1		3						
	小計(9科目)	—	0	9	0	18	15	1	0	0	0	
【プログラム専門科目(演習・特別研究)】												
薬剤学演習	1~2通		2		1							
応用薬理学演習	1~2通		2		1							
生体認識化学演習	1~2通		2		1							
がん細胞生物学演習	1~2通		2		1							
薬化学演習	1~2通		2		1							
薬品製造学演習	1~2通		2		1							
分子神経生物学演習	1~2通		2		1							
遺伝情報制御学演習	1~2通		2		1							
分子細胞機能学演習	1~2通		2		1							
薬用生物資源学演習	1~2通		2		1							
分子合成化学演習	1~2通		2		1							
生体界面化学演習	1~2通		2		1							
構造生物学演習	1~2通		2		1							
薬物生理学演習	1~2通		2		1							
医療薬学演習	1~2通		2		1							
病態制御薬理学演習	1~2通		2		1							
医薬品安全性学演習	1~2通		2		2							
薬物治療学演習	1~2通		2		1							
臨床薬剤学演習	1~2通		2		1							
製剤設計学演習	1~2通		2		1							
資源科学演習	1~2通		2		1							
天然物創薬学演習	1~2通		2		1							
神経機能学演習	1~2通		2		1							
生体防御学演習	1~2通		2		1							
複雑系解析演習	1~2通		2		1							
未病学演習	1~2通		2		1							
生物学演習	1~2通		2		1							
ゲノム機能解析演習	1~2通		2		1							
薬科学特別研究	1~2通		10		24	20	1					
小計(29科目)	—	10	56	0	24	20	1	0	0	0		
合計(153科目)	—	27	290	2	68	50	10	5	0	0	40	

卒業要件及び履修方法

(修了要件)
2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

- 先端医学プログラム (M)
次の履修方法により30単位以上を履修すること。
・大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上
・研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上
・先端医学プログラムのプログラム専門科目から必修13単位を含む22単位以上

■看護科学プログラム (M)

- 次の履修方法によりそれぞれ指定された単位を履修すること。
<各コース共通>
・大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上
・研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上(ナースプラクティショナー(NP)コースは「総合医薬学」必修1単位に加え、「解剖生理病態学序論」1単位、「解剖生理病態学特論」1単位、「病態薬理学序論」1単位及び「病態薬理学特論」1単位の計5単位を必修とする。)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎薬学プログラム科目	【プログラム専門科目(序論)】											
	薬学経済序論	1①	1			4						1
	分子化学序論	1③		1		1	1					
	生物物理学序論	1③		1		3	4					
	薬理薬剤学序論	1②		1		6						
	分子細胞生物学序論	1①		1		2	2					
	応用天然物化学序論	1③		1		3						
	応用和漢医薬学序論	1③		1		3	2					
	小計(7科目)	—	1	6	0	17	10	0	0	0	0	1
	【プログラム専門科目(特論)】											
	分子化学特論	1④		1		1	1					
	分子設計学特論	1④		1		1	1					
	生物物理学特論	1④		1		3	4					
	薬理学特論	2①		1		3	2	1				
	薬物動態学特論	2①		1		4						
	分子生理学特論	1③		1		1	1					
	遺伝子応用分析学特論	2②		1		2	3					
	分子細胞生物学特論	2②		1		2	2					
	応用天然物化学特論	2②		1		3						
	小計(9科目)	—	0	9	0	18	15	1	0	0	0	
【プログラム専門科目(演習・特別研究)】												
薬剤学演習	1~2通		2		1							
応用薬理学演習	1~2通		2		1							
生体認識化学演習	1~2通		2		1							
がん細胞生物学演習	1~2通		2		1							
薬化学演習	1~2通		2		1							
薬品製造学演習	1~2通		2		1							
分子神経生物学演習	1~2通		2		1							
遺伝情報制御学演習	1~2通		2		1							
分子細胞機能学演習	1~2通		2		1							
薬用生物資源学演習	1~2通		2		1							
分子合成化学演習	1~2通		2		1							
生体界面化学演習	1~2通		2		1							
構造生物学演習	1~2通		2		1							
薬物生理学演習	1~2通		2		1							
医療薬学演習	1~2通		2		1							
病態制御薬理学演習	1~2通		2		1							
医薬品安全性学演習	1~2通		2		2							
薬物治療学演習	1~2通		2		1							
臨床薬剤学演習	1~2通		2		1							
製剤設計学演習	1~2通		2		1							
資源科学演習	1~2通		2		1							
天然物創薬学演習	1~2通		2		1							
神経機能学演習	1~2通		2		1							
生体防御学演習	1~2通		2		1							
複雑系解析演習	1~2通		2		1							
未病学演習	1~2通		2		1							
生物学演習	1~2通		2		1							
ゲノム機能解析演習	1~2通		2		1							
薬科学特別研究	1~2通		10		24	19	1					
小計(29科目)	—	10	56	0	24	19	1	0	0	0		
合計(155科目)	—	27	290	2	68	49	10	4	0	0	41	

卒業要件及び履修方法

(修了要件)
2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

- 先端医学プログラム (M)
次の履修方法により30単位以上を修得すること。
・大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上
・研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上
・先端医学プログラムのプログラム専門科目から必修13単位を含む22単位以上

■看護科学プログラム (M)

- 次の履修方法によりそれぞれ指定された単位を修得すること。
<各コース共通>
・大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上
・研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上(ナースプラクティショナー(NP)コースは「総合医薬学」必修1単位に加え、「解剖生理病態学序論」1単位、「解剖生理病態学特論」1単位、「病態薬理学序論」1単位及び「病態薬理学特論」1単位の計5単位を必修とする。)

<研究者コース>
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目(A群共通科目「看護研究」2単位、「コンサルテーション論」2単位、「看護管理論」2単位、「看護理論」2単位・B群共通科目「臨床薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位、「臨床推論Ⅰ」2単位、「救急看護演習」1単位及び「健康生活研究計画法」1単位)から8単位以上

〔看護ケアサイエンス学を選択した場合〕
 ・『看護ケアサイエンス学特論Ⅰ』2単位、『看護ケアサイエンス学演習Ⅰ』4単位及び『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位、『看護ケアサイエンス学特論Ⅱ』2単位、『看護ケアサイエンス学演習Ⅱ』4単位及び『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位)のいずれかを選択必修とする。
 ・〔母子看護学を選択した場合〕
 ・『母性看護学特論Ⅰ』2単位、『母性看護学特論Ⅱ』2単位、『母子看護学演習』4単位及び『母子看護学特別研究』8単位、『小児看護学特論Ⅰ』2単位、『小児看護学特論Ⅱ』2単位、『母子看護学演習』4単位及び『母子看護学特別研究』8単位)のいずれかを選択必修とする。
 ・〔地域・老年看護学を選択した場合〕
 ・『地域・老年看護学特論Ⅰ』2単位、『地域・老年看護学演習Ⅰ』4単位及び『地域・老年看護学特別研究』8単位、『地域・老年看護学特論Ⅱ』2単位、『地域・老年看護学演習Ⅱ』4単位及び『地域・老年看護学特別研究』8単位)のいずれかを選択必修とする。

<専門看護師(CNS)コース>
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目:A群共通科目から8単位以上、B群共通科目から「病態生理学」2単位、「臨床薬理学」2単位及び「フィジカルアセスメント」2単位必修。
 ・〔がん看護CNSコースの場合〕
 ・研究者コースの看護ケアサイエンス学の「成人看護学特論」2単位及びCNSコースのがん看護学分野がん看護の全科目30単位を必修
 ・〔母性看護CNSコースの場合〕
 ・研究者コースの母子看護学の「母性看護学特論Ⅰ」2単位、「母性看護学特論Ⅱ」2単位、「母子看護学特別研究」8単位及びCNSコースの母子看護学分野母性看護の全科目20単位を必修

<ナースプラクティショナー(NP)コース>
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のA群共通科目の「看護研究」2単位必修
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「病態生理学」2単位、「臨床薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位及び「臨床推論Ⅰ」2単位必修
 ・NPコースのNP基礎科目の全科目13単位必修
 ・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅰ」6単位、「アドバンスプラクティス演習Ⅰ」3単位、「アドバンスプラクティス実習Ⅰ」6単位、「アドバンスプラクティス総合実習」6単位及び「アドバンスプラクティス実践課題研究」3単位必修

〔NP急性期領域の場合〕
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「救急看護演習」1単位必修
 ・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅱ」4単位、「アドバンスプラクティス演習Ⅱ」1単位、「アドバンスプラクティス実習Ⅱ」3単位必修
 〔NP慢性期領域の場合〕
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「健康生活研究計画法」1単位必修
 ・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅲ」1単位、「アドバンスプラクティス演習Ⅲ」1単位、「アドバンスプラクティス実習Ⅲ」1単位必修

■基礎薬学プログラム (M)
 次の履修方法により30単位以上を履修すること。
 ・大学院共通科目から必修2単位を含む4単位
 ・研究科共通科目から必修1単位を含む4単位
 ・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)から必修1単位を含む4単位
 ・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(特論)から4単位
 ・大学院共通科目、研究科共通科目、基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)及び基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(特論)から2単位以上
 ・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(演習・特別研究)から必修10単位を含む12単位

<研究者コース>
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目(A群共通科目「看護研究」2単位、「コンサルテーション論」2単位、「看護管理論」2単位、「看護理論」2単位・B群共通科目「臨床薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位、「臨床推論Ⅰ」2単位、「救急看護演習」1単位及び「健康生活研究計画法」1単位)から8単位以上

〔看護ケアサイエンス学を選択した場合〕
 ・『看護ケアサイエンス学特論Ⅰ』2単位、『看護ケアサイエンス学演習Ⅰ』4単位及び『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位、『看護ケアサイエンス学特論Ⅱ』2単位、『看護ケアサイエンス学演習Ⅱ』4単位及び『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位)のいずれかを選択必修とする。
 ・〔母子看護学を選択した場合〕
 ・『母性看護学特論Ⅰ』2単位、『母性看護学特論Ⅱ』2単位、『母子看護学演習』4単位及び『母子看護学特別研究』8単位、『小児看護学特論Ⅰ』2単位、『小児看護学特論Ⅱ』2単位、『母子看護学演習』4単位及び『母子看護学特別研究』8単位)のいずれかを選択必修とする。
 ・〔地域・老年看護学を選択した場合〕
 ・『地域・老年看護学特論Ⅰ』2単位、『地域・老年看護学演習Ⅰ』4単位及び『地域・老年看護学特別研究』8単位、『地域・老年看護学特論Ⅱ』2単位、『地域・老年看護学演習Ⅱ』4単位及び『地域・老年看護学特別研究』8単位)のいずれかを選択必修とする。

<専門看護師(CNS)コース>
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目:A群共通科目から8単位以上、B群共通科目から「病態生理学」2単位、「臨床薬理学」2単位及び「フィジカルアセスメント」2単位必修。
 ・〔がん看護CNSコースの場合〕
 ・研究者コースの看護ケアサイエンス学の「成人看護学特論」2単位及びCNSコースのがん看護学分野がん看護の全科目30単位を必修
 ・〔母性看護CNSコースの場合〕
 ・研究者コースの母子看護学の「母性看護学特論Ⅰ」2単位、「母性看護学特論Ⅱ」2単位、「母子看護学特別研究」8単位及びCNSコースの母子看護学分野母性看護の全科目20単位を必修

<ナースプラクティショナー(NP)コース>
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のA群共通科目の「看護研究」2単位、
「看護理論」2単位及び「看護政策論」2単位必修
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「病態生理学」2単位、「臨床薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位及び「臨床推論Ⅰ」2単位必修
 ・NPコースのNP基礎科目の全科目13単位必修
 ・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅰ」6単位、「アドバンスプラクティス演習Ⅰ」3単位、「アドバンスプラクティス実習Ⅰ」6単位、「アドバンスプラクティス総合実習」6単位及び「アドバンスプラクティス実践課題研究」3単位必修

〔NP急性期領域の場合〕
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「救急看護演習」1単位必修
 ・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅱ」4単位、「アドバンスプラクティス演習Ⅱ」1単位、「アドバンスプラクティス実習Ⅱ」3単位必修
・NPコースのNP特別科目のクリティカル・ケア特論の2単位必修
 〔NP慢性期領域の場合〕
 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「健康生活研究計画法」1単位必修
 ・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅲ」1単位、「アドバンスプラクティス演習Ⅲ」1単位、「アドバンスプラクティス実習Ⅲ」1単位必修
・NPコースのNP特別科目のプライマリ・ケア特論2単位必修

■基礎薬学プログラム (M)
 次の履修方法により30単位以上を**修得**すること。
 ・大学院共通科目から必修2単位を含む4単位
 ・研究科共通科目から必修1単位を含む4単位
 ・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)から必修1単位を含む4単位
 ・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(特論)から4単位
 ・大学院共通科目、研究科共通科目、基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)及び基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(特論)から2単位以上
 ・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(演習・特別研究)から必修10単位を含む12単位

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入**してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・教員の就任辞退に伴う担当教員の見直しにより、「英語論文作成Ⅰ」の配当年次を「1①・1③」から「1③」に、「英語論文作成Ⅱ」の配当年次を「1②・1④」から「1④」へと変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「病態薬理学序論」の配当年次を「1③」から「1①」に、「病態薬理学特論」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「病態薬理学序論」、「病態薬理学特論」の専任助教の配置を「3」から「2」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「基礎臨床医学概論」の専任准教授の配置を「6」から「5」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「高度先進医療実践学序論」の専任准教授の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「先端医学特別研究」の専任准教授の配置を「13」から「12」に変更。
- ・教育体制充実のため、「がん看護実践演習Ⅰ(診断～手術後までの患者のリハビリテーション)」「がん看護実践演習Ⅱ(薬物療法・放射線療法をうける患者のリハビリテーション)」「がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケア・在宅療養中の患者のリハビリテーション)」「がん看護学実習Ⅰ」「がん看護学実習Ⅱ」の専任准教授の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「アドバンスプラクティス実習Ⅰ」の専任准教授の配置を「3」から「2」に変更。
- ・教育研究上の必要があるため、「プライマリ・ケア特論」、「クリティカル・ケア特論」を新設し、選択領域に応じて必修科目として設定。
- ・教育体制充実のため、「薬学経済学序論」の専任教授の配置を「4」から「5」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「分子化学序論」の専任准教授の配置を「1」から「0」に変更。
- ・プログラム専門科目の名称の統一化を図るため、授業科目の名称を「複雑系解析演習」から「複雑系解析学演習」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「薬科学特別研究」の専任准教授の配置を「20」から「19」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	143 科目	1 科目	153 科目	9 科目 [0]	145 科目 [2]	1 科目 [0]	155 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{153} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考						
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	用途変更のため (4)						
	校舎敷地	518,281 518,141 m ²	- m ²	- m ²	518,281 518,141 m ²							
	運動場用地	105,572 m ²	- m ²	- m ²	105,572 m ²							
	小 計	623,853 623,713 m ²	- m ²	- m ²	623,853 623,713 m ²							
	そ の 他	89,769 89,909 m ²	- m ²	- m ²	89,769 89,909 m ²							
	合 計	713,622 m ²	- m ²	- m ²	713,622 m ²							
(2) 校 舎	専 用	228,408 228,130 m ²	- m ²	- m ²	228,408 228,130 m ²	用途変更のため (4)						
	(228,130 m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)								
(3) 教 室 等	講 義 室	130 131 室	演 習 室	246 238 室	実験実習室	664 653 室	情報処理学習施設	21 室 (補助職員 14人)	語学学習施設	2 3 室 (補助職員 0人)	大学全体	用途変更のため (4)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数							
	総合医薬学研究科 総合医薬学専攻				138 141 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不 能なため、大学全体 の数 新規受入、図書の整理 のため (4) 教育研究の充実のため (4)			
			大学全体									1,343,430 421,874
	計			1,343,430 421,874	38,464 [21,147] 23,029 [7,203]	15,458 [13,947] 15,147 [13,627]	18,559 18,448	36 37				0
				1,343,430 421,874	(38,464 [21,147]) 23,029 [7,203]	(15,458 [13,947]) 15,147 [13,627]	18,559 18,448	(36) (37)				(0)
				1,343,430 421,874	(38,464 [21,147]) 23,029 [7,203]	(15,458 [13,947]) 15,147 [13,627]	18,559 18,448	(36) (37)				(0)
				1,343,430 421,874	(38,464 [21,147]) 23,029 [7,203]	(15,458 [13,947]) 15,147 [13,627]	18,559 18,448	(36) (37)				(0)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		新型コロナウイルス感 染対策のため (4)					
	13,840 m ²		1,414 1,512		1,056,750							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								大学全体	
	7,112 m ²		弓 道 場 ・ 武 道 館 プ ー ル ・ テ ニ ス コ ー ト									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による			
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円				
		共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		—										

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学						学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	188	3年次7	712	-	1.02	1.00				
人文学科	4	188	3年次7	712	学士(文学)	1.02	1.00	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	定員変更(18)
教育学部	4	85	-	85	-	1.08	1.08				
共同教員養成課程	4	85	-	85	学士(教育学)	1.08	1.08	-	令和4	富山県富山市五福3190番地	
人間発達科学部											
発達教育学科	4	-	-	240	学士(教育学)	-	-	-	平成17	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止
人間環境システム学科	4	-	-	270	学士(教育学)	-	-	-	平成17	同上	令和4年学生募集停止
経済学部	4	365	3年次10	1,390	-	1.01	1.01				
(屋間主コース)	4	335	3年次10	1,270	-	1.01	1.00	-			
経済学科	4	135	3年次4	503	学士(経済学)	1.03	1.00	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	定員変更(15)
経営学科	4	108	3年次4	416	学士(経営学)	1.01	1.00	-	平成30	同上	定員変更(8)
経営法学科	4	92	3年次2	351	学士(法学)	1.01	1.01	-	平成30	同上	定員変更(7)
(夜間主コース)	4	30	-	120	-	1.05	1.10	-			
経済学科	4	10	-	40	学士(経済学)	1.10	1.20	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	
経営学科	4	10	-	40	学士(経営学)	1.02	1.00	-	平成30	同上	
経営法学科	4	10	-	40	学士(法学)	1.02	1.10	-	平成30	同上	
理学部	4	193	3年次4	771	-	1.03	1.02				
数学科	4	45	-	195	学士(理学)	1.03	1.06	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	定員変更(△5)
物理学科	4	40	3年次1	162	学士(理学)	1.04	1.00	-	昭和52	同上	
化学科	4	35	3年次1	142	学士(理学)	1.05	1.02	-	昭和52	同上	
生物学科	4	38	3年次1	145	学士(理学)	1.03	1.00	-	昭和52	同上	定員変更(3)
地球科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	昭和52	同上	平成30年学生募集停止
自然環境科学科	4	35	3年次1	127	学士(理学)	1.02	1.00	-	平成5	同上	定員変更(5)
医学部											
医学科	6	105	2年次5	655	学士(医学)	1.00	1.00	令和4	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学科	4	80	3年次10	340	学士(看護学)	1.00	1.00	-	平成5	同上	
薬学部											
薬学科	6	70	-	345	学士(薬学)	1.04	1.00	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	定員変更(15)
創薬科学科	4	35	-	185	学士(薬科学)	1.08	1.14	-	平成18	同上	定員変更(△15)

工学部	4	380	3年次17	1,509	-	1.02	1.03					
工学科	4	380	3年次17	1,509	学士 (工学)	1.02	1.03	-	平成30	富山県富山市五福3190番地		
電気電子システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止	
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止	
機械知能システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止	
生命工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止	
環境応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止	
材料機能工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止	
芸術文化学部	4	110	-	440	-	1.04	1.03					
芸術文化学科	4	110	-	440	学士 (芸術文化学)	1.04	1.03	-	平成17	富山県高岡市二上町180番地		
都市デザイン学部	4	159	3年次3	585	-	1.04	1.03					
地球システム科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1.02	1.05	-	平成30	富山県富山市五福3190番地		
都市・交通デザイン学科	4	54	3年次1	176	学士 (工学)	1.04	1.05	-	平成30	同上	定員変更 (14)	
材料デザイン工学科	4	65	3年次2	249	学士 (工学)	1.05	1.00	-	平成30	同上	定員変更 (5)	
大学全体	-	1,770	2年次5 3年次51	7,527	-	-	-	-	-	-		

大学の名称	富山大学大学院						学生募集停止学科数	21	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	4	備考
-------	---------	--	--	--	--	--	-----------	----	----------------------	---	----

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会芸術総合研究科						0.86	0.86				
人文社会芸術総合専攻(修士課程)	2	46	-	46	修士 (心理学) (文学) (芸術文化学) (経済学) (経営学)	0.86	0.86	-	令和4	富山県富山市五福3190番地 富山県高岡市二上町180番地	
(うち、人文社会芸術総合専攻から持続可能社会創成学環の内数とする入学定員及び収容定員)		(8)		(8)							
人文科学研究科											
人文科学専攻(修士課程)	2	8	-	8	修士 (文学)	-	-	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止
人間発達科学研究科											
発達教育専攻(修士課程)	2	6	-	6	修士 (教育学)	-	-	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止
発達環境専攻(修士課程)	2	6	-	6	修士 (教育学)	-	-	-	平成23	同上	令和4年学生募集停止
経済学研究科											
地域・経済政策専攻(修士課程)	2	6	-	6	修士 (経済学)	-	-	-	平成3	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止
企業経営専攻(修士課程)	2	12	-	12	修士 (経営学)	-	-	-	平成3	同上	令和4年学生募集停止
芸術文化学研究科											
芸術文化学専攻(修士課程)	2	8	-	8	修士 (芸術文化学)	-	-	-	平成23	富山県高岡市二上町180番地	令和4年学生募集停止

生命融合科学教育部														
認知・情動脳科学専攻（博士課程）	4	9	-	36	博士（医学）	0.57	0.44	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地				
生体情報システム科学専攻（博士課程）	3	4	-	12	博士（薬科学）（理学）（工学）	0.33	0.00	-	平成18	富山県富山市五福3190番地				
先端ナノ・バイオ科学専攻（博士課程）	3	4	-	12	博士（薬科学）（理学）（工学）	0.25	0.25	-	平成18	富山県富山市五福3190番地				
総合医薬学研究科						0.70	0.70							
総合医薬学専攻（修士課程）	2	66	-	66	修士（医科学）（看護学）（薬科学）	0.70	0.70	-	令和4	富山県富山市杉谷2630番地				
（うち、総合医薬学専攻から医薬理工学環の内数とする入学定員及び収容定員）											(8)	(8)		
医学薬学教育部														
医科学専攻（修士課程）	2	15	-	15	修士（医科学）	-	-	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	令和4年学生募集停止			
看護学専攻（博士前期課程）	2	16	-	16	修士（看護学）	-	-	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	令和4年学生募集停止			
薬科学専攻（博士前期課程）	2	35	-	35	修士（薬科学）	-	-	-	平成22	同上	令和4年学生募集停止			
看護学専攻（博士後期課程）	3	3	-	9	博士（看護学）	0.66	0.66	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地				
薬科学専攻（博士後期課程）	3	8	-	24	博士（薬科学）	1.12	1.00	-	平成24	同上				
生命・臨床医学専攻（博士課程）	4	18	-	72	博士（医学）	0.95	0.77	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地				
東西統合医学専攻（博士課程）	4	7	-	28	博士（医学）	0.28	0.00	-	平成18	同上				
薬学専攻（博士課程）	4	4	-	16	博士（薬学）	0.25	0.25	-	平成24	同上				
理工学研究科						1.20	1.20							
理工学専攻（修士課程）	2	288	-	288	修士（理学）（工学）（理工学）（数理情報学）	1.20	1.20	-	令和4	富山県富山市五福3190番地				
（うち、理工学専攻から持続可能社会創成学環の内数とする入学定員数及び収容定員数）											(10)	(10)		
（うち、理工学専攻から医薬理工学環の内数とする入学定員及び収容定員数）											(29)	(29)		
理工学教育部														
数学専攻（修士課程）	2	8	-	8	修士（理学）	-	-	-	平成18	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止			
物理学専攻（修士課程）	2	12	-	12	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止			
化学専攻（修士課程）	2	12	-	12	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止			
生物学専攻（修士課程）	2	12	-	12	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止			
地球科学専攻（修士課程）	2	10	-	10	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止			
生物環境科学専攻（修士課程）	2	10	-	10	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止			
電気電子システム工学専攻（修士課程）	2	33	-	33	修士（工学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止			
知能情報工学専攻（修士課程）	2	27	-	27	修士（工学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止			
機械知能システム工学専攻（修士課程）	2	33	-	33	修士（工学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止			
生命工学専攻（修士課程）	2	18	-	18	修士（工学）	-	-	-	平成24	同上	令和4年学生募集停止			

環境応用化学専攻 (修士課程)	2	22	-	22	修士 (工学)	-	-	-	平成24	同上	令和4年学生募集停止
材料機能工学専攻 (修士課程)	2	20	-	20	修士 (工学)	-	-	-	平成24	同上	令和4年学生募集停止
数理・ヒューマン システム科学専攻 (博士課程)	3	5	-	15	博士 (理学) (工学)	1.86	2.00	-	平成18	同上	
ナノ新機能物質科 学専攻(博士課 程)	3	4	-	12	博士 (理学) (工学)	1.75	1.25	-	平成18	同上	
新エネルギー科学 専攻(博士課程)	3	3	-	9	博士 (理学) (工学)	0.44	0.33	-	平成18	同上	
地球生命環境科学 専攻(博士課程)	3	4	-	12	博士 (理学) (工学)	0.83	0.75	-	平成18	同上	
持続可能社会創成学環 (修士課程)	2	18	-	18	修士 (学術) (サステイ ナビリティ 学)	1.44	1.44	-	令和4	富山県富山市五福3190番地	
医薬理工学環 (修士課程)	2	37	-	37	修士 (薬科学) (神経科 学) (医工学)	1.35	1.35	-	令和4	富山県富山市五福3190番地 富山県富山市杉谷2630番地	
教職実践開発研究科 教職実践開発専攻 (専門職学位課 程)	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.07	1.00	-	平成28	富山県富山市五福3190番地	
大学院全体	-	487	-	1,014	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<総合医薬学研究科 総合医薬学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一 條 裕之 <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス基礎実 習 I
専	教授	田 村 了以 <令和4年4月> 医学博士
		解剖生理病態学序論 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	井ノ口 馨 <令和4年4月> 博士(農学)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	伊 藤 哲史 <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	森 永 芳智 <令和4年4月> 博士(医学)
		生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	中 川 崇 <令和4年4月> 博士(医学)
		病態薬理学序論 病態薬理学特論 先端医科学特別研究 臨床薬理学

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	一 條 裕之 <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス基 礎実習 I
専	教授	田 村 了以 <令和4年4月> 医学博士
		解剖生理病態学序論 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	井ノ口 馨 <令和4年4月> 博士(農学)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	伊 藤 哲史 <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	森 永 芳智 <令和4年4月> 博士(医学)
		生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	中 川 崇 <令和4年4月> 博士(医学)
		病態薬理学序論 病態薬理学特論 先端医科学特別研究 臨床薬理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関根 道和 <令和4年4月> 博士(医学)
		総合医薬学 社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	稲寺 秀邦 <令和4年4月> 博士(医学)
		科学技術と持続可能社会 基礎臨床医科学概論 社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	西田 尚樹 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	森 寿 <令和4年4月> 医学博士
		総合医薬学 基礎臨床医科学概論 分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論
専	教授	戸邊 一之 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究
専	教授	絹川 弘一郎 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究
専	教授	安田 一朗 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(副研究科長)	関根 道和 <令和4年4月> 博士(医学)
		総合医薬学 社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	稲寺 秀邦 <令和4年4月> 博士(医学)
		科学技術と持続可能社会 基礎臨床医科学概論 社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	西田 尚樹 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	森 寿 <令和4年4月> 医学博士
		総合医薬学 基礎臨床医科学概論 分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論
専	教授	戸邊 一之 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究
専	教授	絹川 弘一郎 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究
専	教授	安田 一朗 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 善裕 <令和4年4月> 博士(医学)
		生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅰ
専	教授	清水 忠道 <令和4年4月> 博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	鈴木 道雄 <令和4年4月> 医学博士
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	野口 京 <令和4年4月> 博士(医学)
		病態検査医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	齋藤 淳一 <令和4年4月> 博士(医学)
		病態検査医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	芳村 直樹 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス演習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス総合実習
専	教授	藤井 努 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 善裕 <令和4年4月> 博士(医学)
		生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅰ
専	教授	清水 忠道 <令和4年4月> 博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	鈴木 道雄 <令和4年4月> 医学博士
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	野口 京 <令和4年4月> 博士(医学)
		病態検査医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	齋藤 淳一 <令和4年4月> 博士(医学)
		病態検査医学特論 先端医科学特別研究
専	教授	芳村 直樹 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス演習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス総合実習
専	教授	藤井 努 <令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黒田 敏 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	川口 善治 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
専	教授	中島 彰俊 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス総合実習
専	教授	林 篤志 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 薬学経済序論
専	教授	北村 寛 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究
専	教授	野口 誠 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	佐藤 勉 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黒田 敏 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	川口 善治 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
専	教授	中島 彰俊 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス総合実習
専	教授	林 篤志 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 薬学経済序論
専	教授	北村 寛 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究
専	教授	野口 誠 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	佐藤 勉 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	貝沼 茂三郎 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学序論 東洋医学特論
専	教授	中辻 裕司 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	佐武 利彦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	教授	林 龍二 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 がん看護学特論Ⅰ(病態生理)
専	教授	長島 久 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	教授	中條 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		データサイエンス特論 臨床研究の計画法 高度先進医療実践学序論
専	教授	寺元 剛 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床研究の計画法
専	教授	高雄 啓三 ＜令和4年4月＞ 博士(情報学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	貝沼 茂三郎 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学序論 東洋医学特論
専	教授	中辻 裕司 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	佐武 利彦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	教授	林 龍二 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 がん看護学特論Ⅰ(病態生理)
専	教授	長島 久 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	教授	中條 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		データサイエンス特論 臨床研究の計画法 高度先進医療実践学序論
専	教授	寺元 剛 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床研究の計画法
専	教授	高雄 啓三 ＜令和4年4月＞ 博士(情報学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	袴田 優子 <令和4年4月> 博士(教育学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	西谷 美幸 <令和4年4月> 博士(看護学)
		看護倫理 看護管理論 看護理論 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ 看護ケアサイエンス学特別研究 アドバンスプラクティス基礎実習Ⅰ
専	教授	八塚 美樹 <令和4年4月> 修士(看護学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 看護教育論 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ 看護ケアサイエンス学特別研究 成人看護学特論 がん看護学特論Ⅰ(病態生理) がん看護学特論Ⅱ(援助論) がん看護学特論Ⅲ(がんリハビリテーション看護論) がん看護実践演習Ⅰ(診断～手術後までの患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅱ(薬物療法・放射線療法をうける患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケア・在宅療養中の患者のリハビリテーション) がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ がん看護実践特別研究 アドバンスプラクティス実践課題研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	袴田 優子 <令和4年4月> 博士(教育学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	西谷 美幸 <令和4年4月> 博士(看護学)
		看護倫理 看護管理論 看護理論 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ 看護ケアサイエンス学特別研究 アドバンスプラクティス基礎実習Ⅰ
専	教授	八塚 美樹 <令和4年4月> 修士(看護学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 看護教育論 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ 看護ケアサイエンス学特別研究 成人看護学特論 がん看護学特論Ⅰ(病態生理) がん看護学特論Ⅱ(援助論) がん看護学特論Ⅲ(がんリハビリテーション看護論) がん看護実践演習Ⅰ(診断～手術後までの患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅱ(薬物療法・放射線療法をうける患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケア・在宅療養中の患者のリハビリテーション) がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ がん看護実践特別研究 アドバンスプラクティス実践課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安田 智美 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		病態生理学 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ 看護ケアサイエンス学特別研究 成人看護学特論 がん看護学特論Ⅰ(病態生理) がん看護学特論Ⅱ(援助論) がん看護学特論Ⅲ(がんリハビリテーション看護論) がん看護実践演習Ⅰ(診断～手術後までの患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅱ(薬物療法・放射線療法をうける患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケア・在宅療養中の患者のリハビリテーション) がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ がん看護実践特別研究 アドバンスプラクティス特論Ⅰ アドバンスプラクティス実践課題研究
専	教授	長谷川 ともみ ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		看護研究 母性看護学特論Ⅰ 母性看護学特論Ⅱ 小児看護学特論Ⅰ 母子看護学演習 母子看護学特別研究 母性看護学特論Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅰ 周産期看護実践演習Ⅱ 周産期看護実践演習Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅳ 周産期看護実習Ⅰ 周産期看護実習Ⅱ 周産期看護実習Ⅲ
専	教授	比嘉 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		臨床研究の計画法 コンサルテーション論 看護ケアサイエンス学特論Ⅱ 看護ケアサイエンス学演習Ⅱ 看護ケアサイエンス学特別研究 医療安全学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安田 智美 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		病態生理学 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ 看護ケアサイエンス学特別研究 成人看護学特論 がん看護学特論Ⅰ(病態生理) がん看護学特論Ⅱ(援助論) がん看護学特論Ⅲ(がんリハビリテーション看護論) がん看護実践演習Ⅰ(診断～手術後までの患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅱ(薬物療法・放射線療法をうける患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケア・在宅療養中の患者のリハビリテーション) がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ がん看護実践特別研究 アドバンスプラクティス特論Ⅰ アドバンスプラクティス実践課題研究
専	教授	長谷川 ともみ ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		看護研究 母性看護学特論Ⅰ 母性看護学特論Ⅱ 小児看護学特論Ⅰ 母子看護学演習 母子看護学特別研究 母性看護学特論Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅰ 周産期看護実践演習Ⅱ 周産期看護実践演習Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅳ 周産期看護実習Ⅰ 周産期看護実習Ⅱ 周産期看護実習Ⅲ
専	教授	比嘉 勇人 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		臨床研究の計画法 コンサルテーション論 看護ケアサイエンス学特論Ⅱ 看護ケアサイエンス学演習Ⅱ 看護ケアサイエンス学特別研究 医療安全学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田村 須賀子 ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		総合医薬学 看護政策論 地域・老年看護学特論Ⅰ 地域・老年看護学演習Ⅰ 地域・老年看護学特別研究 アドバンスプラクティス基礎特論
専	教授	金森 昌彦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		心身健康科学 病態生理学 看護ケアサイエンス学特別研究 疾病・臨床病態概論 アドバンスプラクティス基礎特論 アドバンスプラクティス基礎実習Ⅰ アドバンスプラクティス基礎実習Ⅱ アドバンスプラクティス特論Ⅰ アドバンスプラクティス特論Ⅱ アドバンスプラクティス演習Ⅰ アドバンスプラクティス演習Ⅱ アドバンスプラクティス演習Ⅲ アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス実習Ⅲ アドバンスプラクティス総合実習 アドバンスプラクティス実践課題研究
専	教授	堀 悦郎 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 心身健康科学 病態生理学 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ 看護ケアサイエンス学特別研究
専	教授	細谷 健一 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 薬剤学演習 薬科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田村 須賀子 ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		総合医薬学 看護政策論 地域・老年看護学特論Ⅰ 地域・老年看護学演習Ⅰ 地域・老年看護学特別研究 アドバンスプラクティス基礎特論
専	教授	金森 昌彦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		心身健康科学 病態生理学 看護ケアサイエンス学特別研究 疾病・臨床病態概論 アドバンスプラクティス基礎特論 アドバンスプラクティス基礎実習Ⅰ アドバンスプラクティス基礎実習Ⅱ アドバンスプラクティス特論Ⅰ アドバンスプラクティス特論Ⅱ アドバンスプラクティス演習Ⅰ アドバンスプラクティス演習Ⅱ アドバンスプラクティス演習Ⅲ アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス実習Ⅲ アドバンスプラクティス総合実習 アドバンスプラクティス実践課題研究
専	教授	堀 悦郎 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 心身健康科学 病態生理学 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ 看護ケアサイエンス学特別研究
専	教授	細谷 健一 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 薬剤学演習 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	久米 利明 <令和4年4月> 博士(薬学)
		中枢神経薬理学序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 応用薬理学演習 薬科学特別研究
専	教授	友廣 岳則 <令和4年4月> 博士(理学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 生体認識化学演習 薬科学特別研究
専	教授	櫻井 宏明 <令和4年4月> 博士(薬学)
		分子細胞生物学特論 がん細胞生物学演習 薬科学特別研究
専	教授	松谷 裕二 <令和4年4月> 博士(薬学)
		分子化学特論 薬品製造学演習 薬科学特別研究
専	教授	宗 孝紀 <令和4年4月> 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 分子細胞機能学演習 薬科学特別研究
専	教授	矢倉 隆之 <令和4年4月> 薬学博士
		分子化学序論 分子合成化学演習 薬科学特別研究
専	教授	中野 実 <令和4年4月> 博士(工学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 生体界面化学演習 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	久米 利明 <令和4年4月> 博士(薬学)
		中枢神経薬理学序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 応用薬理学演習 薬科学特別研究
専	教授	友廣 岳則 <令和4年4月> 博士(理学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 生体認識化学演習 薬科学特別研究
専	教授	櫻井 宏明 <令和4年4月> 博士(薬学)
		分子細胞生物学特論 がん細胞生物学演習 薬科学特別研究
専	教授	松谷 裕二 <令和4年4月> 博士(薬学)
		分子化学特論 薬品製造学演習 薬科学特別研究
専	教授	宗 孝紀 <令和4年4月> 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 分子細胞機能学演習 薬科学特別研究
専	教授	矢倉 隆之 <令和4年4月> 薬学博士
		分子化学序論 分子合成化学演習 薬科学特別研究
専	教授	中野 実 <令和4年4月> 博士(工学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 生体界面化学演習 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水口 峰之 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 構造生物学演習 薬科学特別研究
専	教授	酒井 秀紀 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		総合医薬学 薬学経済序論 分子生理学特論 薬物生理学演習 薬科学特別研究
専	教授	藤(中村) 秀人 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医療薬学演習 薬科学特別研究
専	教授	笹岡 利安 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		薬理薬剤学序論 薬理学特論 病態制御薬理学演習 薬科学特別研究
専	教授	橋本 征也 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 薬科学特別研究
専	教授	新田 淳美 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 薬物治療学演習 薬科学特別研究
専	教授	田口 雅登 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		臨床研究の計画法 薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水口 峰之 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 構造生物学演習 薬科学特別研究
専	教授 (研究科 長)	酒井 秀紀 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		総合医薬学 薬学経済序論 分子生理学特論 薬物生理学演習 薬科学特別研究
専	教授	藤(中村) 秀人 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医療薬学演習 薬科学特別研究
専	教授	笹岡 利安 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		薬理薬剤学序論 薬理学特論 病態制御薬理学演習 薬科学特別研究
専	教授	橋本 征也 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 薬科学特別研究
専	教授	新田 淳美 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 薬物治療学演習 薬科学特別研究
専	教授	田口 雅登 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		臨床研究の計画法 薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 敦 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用和漢医薬学序論 臨床薬剤学演習 薬科学特別研究
専	教授	大貫 義則 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		製剤設計学演習 薬科学特別研究
専	教授	森田 洋行 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子設計学特論 天然物創薬学演習 薬科学特別研究
専	教授	東田 千尋 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		神経機能学演習 薬科学特別研究
専	教授	早川 芳弘 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 生体防御学演習 薬科学特別研究
専	教授	中川 嘉 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		複雑系解析演習 薬科学特別研究
専	教授	小泉 桂一 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用和漢医薬学序論 分子細胞生物学特論 未病学演習 薬科学特別研究
専	教授	柴原 直利 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学特論 応用和漢医薬学序論 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 敦 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		薬学経済序論 応用和漢医薬学序論 臨床薬剤学演習 薬科学特別研究
専	教授	大貫 義則 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		製剤設計学演習 薬科学特別研究
専	教授	森田 洋行 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子設計学特論 天然物創薬学演習 薬科学特別研究
専	教授	東田 千尋 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		神経機能学演習 薬科学特別研究
専	教授	早川 芳弘 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 生体防御学演習 薬科学特別研究
専	教授	中川 嘉 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		複雑系解析学演習 薬科学特別研究
専	教授	小泉 桂一 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用和漢医薬学序論 分子細胞生物学特論 未病学演習 薬科学特別研究
専	教授	柴原 直利 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学特論 応用和漢医薬学序論 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田淵 圭章 <令和4年4月> 博士(薬学)
		遺伝子応用分析学特論 ゲノム機能解析演習 薬科学特別研究
専	准教授	中島 敏 <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅱ
専	准教授	小澤 龍彦 <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎臨床医科学概論 生体防御医学序論 生体防御医学特論
専	准教授	畑 由紀子 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	西丸 広史 <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究
専	准教授	吉田 知之 <令和4年4月> 博士(医学)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論
専	准教授	八木 邦公 <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス総合実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田淵 圭章 <令和4年4月> 博士(薬学)
		遺伝子応用分析学特論 ゲノム機能解析演習 薬科学特別研究
専	准教授	中島 敏 <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅱ
専	准教授	小澤 龍彦 <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎臨床医科学概論 生体防御医学序論 生体防御医学特論
専	准教授	畑 由紀子 <令和4年4月> 博士(医学)
		社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	西丸 広史 <令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究
専	准教授	吉田 知之 <令和4年4月> 博士(医学)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論
専	准教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田尻 和人 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	准教授	牧野 輝彦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	高橋 努 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	小川 良平 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	深原 一晃 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	准教授	安田 剛敏 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス特論Ⅲ アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
専	准教授	藤坂 実千郎 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田尻 和人 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	准教授	牧野 輝彦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	高橋 努 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	小川 良平 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	深原 一晃 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	准教授	安田 剛敏 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス特論Ⅲ アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
専	准教授	藤坂 実千郎 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	廣田 弘毅 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		基礎臨床医科学概論
専	准教授	猪又 峰彦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床研究の計画法
専	准教授	仁井見 英樹 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		病態検査医学序論
専	准教授	藤本 誠 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学特論
専	准教授	若杉 雅浩 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		社会医学序論 社会医学特論 高度先進医療実践学特論 救急蘇生学序論 救急蘇生学特論 災害危機管理学序論 災害危機管理学特論 救急看護演習 アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
専	准教授	宮本 大祐 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	赤井 卓也 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	廣田 弘毅 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		基礎臨床医科学概論
専	准教授	猪又 峰彦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床研究の計画法
専	准教授	仁井見 英樹 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		病態検査医学序論
専	准教授	藤本 誠 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学特論
専	准教授	若杉 雅浩 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		社会医学序論 社会医学特論 高度先進医療実践学特論 救急蘇生学序論 救急蘇生学特論 災害危機管理学序論 災害危機管理学特論 救急看護演習 アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習 クリティカル・ケア特論
専	准教授	宮本 大祐 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
専	准教授	赤井 卓也 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	北 啓一朗 <令和4年4月> 博士(医学)
		フィジカルアセスメント 臨床推論Ⅰ 臨床推論Ⅱ
専	准教授	吉井 美穂 <令和4年4月> 博士(医学)
		病態生理学 臨床薬理学 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ アドバンスプラクティス特論Ⅰ アドバンスプラクティス演習Ⅰ
専	准教授	坪田 恵子 <令和4年4月> 博士(保健学)
		看護理論 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ
専	准教授	山田 理絵 <令和4年4月> 博士(保健学)
		看護管理論 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ アドバンスプラクティス特論Ⅲ アドバンスプラクティス演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	北 啓一朗 <令和4年4月> 博士(医学)
		フィジカルアセスメント 臨床推論Ⅰ 臨床推論Ⅱ
専	准教授	吉井 美穂 <令和4年4月> 博士(医学)
		病態生理学 臨床薬理学 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ アドバンスプラクティス特論Ⅰ アドバンスプラクティス演習Ⅰ
専	准教授	坪田 恵子 <令和4年4月> 博士(保健学)
		看護理論 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ
専	准教授	山田 理絵 <令和4年4月> 博士(保健学)
		看護管理論 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ アドバンスプラクティス特論Ⅲ アドバンスプラクティス演習Ⅲ がん看護実践演習Ⅰ(診断～手術後までの患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅱ(薬物療法・放射線療法をうける患者のリハビリテーション) がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケア・在宅療養中の患者のリハビリテーション) がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	梅村 俊彰 ＜令和4年4月＞ 博士(物理学)
		フィジカルアセスメント 救急看護演習 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ がん看護学特論Ⅰ(病態生理) がん看護実践演習Ⅰ(診断～手術 後までの患者のリハビリテーショ ン) がん看護実践演習Ⅱ(薬物療法・ 放射線療法をうける患者のリハビ リテーション) がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケア・ 在宅療養中の患者のリハビリテー ション) がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ フィジカルアセスメント特論
専	准教授	桶本 千史 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		看護研究 母性看護学特論Ⅱ 小児看護学特論Ⅰ 小児看護学特論Ⅱ 母子看護学演習 周産期看護実践演習Ⅳ 周産期看護実習Ⅲ
専	准教授	二川 香里 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		看護研究 看護教育論 母性看護学特論Ⅰ 母性看護学特論Ⅱ 母子看護学演習 母性看護学特論Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅰ 周産期看護実践演習Ⅱ 周産期看護実践演習Ⅲ 周産期看護実習Ⅰ 周産期看護実習Ⅱ 周産期看護実習Ⅲ アドバンスプラクティス基礎特 論
専	准教授	笹野 京子 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		看護研究 母性看護学特論Ⅰ 母性看護学特論Ⅱ 母子看護学演習 母性看護学特論Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅰ 周産期看護実践演習Ⅱ 周産期看護実践演習Ⅲ 周産期看護実習Ⅰ 周産期看護実習Ⅱ 周産期看護実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	梅村 俊彰 ＜令和4年4月＞ 博士(物理学)
		フィジカルアセスメント 救急看護演習 看護ケアサイエンス学特論Ⅰ 看護ケアサイエンス学演習Ⅰ がん看護学特論Ⅰ(病態生理) がん看護実践演習Ⅰ(診断～ 手術後までの患者のリハビリ テーション) がん看護実践演習Ⅱ(薬物療 法・放射線療法をうける患者の リハビリテーション) がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケ ア・在宅療養中の患者のリハビ リテーション) がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ フィジカルアセスメント特論
専	准教授	桶本 千史 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学)
		看護研究 母性看護学特論Ⅱ 小児看護学特論Ⅰ 小児看護学特論Ⅱ 母子看護学演習 周産期看護実践演習Ⅳ 周産期看護実習Ⅲ
専	准教授	二川 香里 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		看護研究 看護教育論 母性看護学特論Ⅰ 母性看護学特論Ⅱ 母子看護学演習 母性看護学特論Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅰ 周産期看護実践演習Ⅱ 周産期看護実践演習Ⅲ 周産期看護実習Ⅰ 周産期看護実習Ⅱ 周産期看護実習Ⅲ アドバンスプラクティス基 礎特論
専	准教授	笹野 京子 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		看護研究 母性看護学特論Ⅰ 母性看護学特論Ⅱ 母子看護学演習 母性看護学特論Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅰ 周産期看護実践演習Ⅱ 周産期看護実践演習Ⅲ 周産期看護実習Ⅰ 周産期看護実習Ⅱ 周産期看護実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	新鞍 真理子 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)(看護学)
		地域・老年看護学特論Ⅱ 地域・老年看護学演習Ⅱ
専	准教授	高倉 恭子 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康生活研究計画法 臨床推論Ⅱ アドバンスプラクティス特論Ⅲ アドバンスプラクティス演習Ⅱ
専	准教授	歌 大介 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	谷本 裕樹 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	横山 悟 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		分子細胞生物学特論 薬科学特別研究
専	准教授	千葉 順哉 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物物理学序論 分子設計学特論 生物物理学特論 薬化学演習 薬科学特別研究
専	准教授	杉本 健士 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子化学特論 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	新鞍 真理子 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)(看護学)
		地域・老年看護学特論Ⅱ 地域・老年看護学演習Ⅱ
専	准教授	高倉 恭子 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康生活研究計画法 臨床推論Ⅱ アドバンスプラクティス特論Ⅲ アドバンスプラクティス演習Ⅱ
専	准教授	歌 大介 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	谷本 裕樹 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	横山 悟 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		分子細胞生物学特論 薬科学特別研究
専	准教授	千葉 順哉 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物物理学序論 分子設計学特論 生物物理学特論 薬化学演習 薬科学特別研究
専	准教授	杉本 健士 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子化学特論 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田淵 明子 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論 遺伝子応用分析学特論 分子神経生物学演習 薬科学特別研究
専	准教授	廣瀬 豊 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		遺伝子応用分析学特論 遺伝情報制御学演習 薬科学特別研究
専	准教授	守田 雅志 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 薬科学特別研究
専	准教授	田浦 太志 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用天然物化学序論 応用天然物化学特論 薬用生物資源学演習 薬科学特別研究
専	准教授	南部 寿則 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子化学序論 薬科学特別研究
専	准教授	池田 恵介 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	帯田 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	清水 貴浩 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		分子生理学特論 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田淵 明子 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論 遺伝子応用分析学特論 分子神経生物学演習 薬科学特別研究
専	准教授	廣瀬 豊 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		遺伝子応用分析学特論 遺伝情報制御学演習 薬科学特別研究
専	准教授	守田 雅志 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 薬科学特別研究
専	准教授	田浦 太志 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用天然物化学序論 応用天然物化学特論 薬用生物資源学演習 薬科学特別研究
専	准教授	池田 恵介 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	帯田 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	清水 貴浩 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		分子生理学特論 薬科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	恒枝 宏史 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		薬理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	當銘 一文 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用天然物化学序論 応用和漢医薬学序論 応用天然物化学特論 資源科学演習 薬科学特別研究
専	准教授	AWALE SURESH ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用天然物化学序論 応用天然物化学特論 薬科学特別研究
専	准教授	東田 道久 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		応用和漢医薬学序論 薬科学特別研究
専	准教授	渡辺 志朗 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		分子細胞生物学序論 薬科学特別研究
専	准教授	奥 牧人 ＜令和4年4月＞ 博士(情報理工学)
		データサイエンス特論 薬科学特別研究
専	准教授	片桐 達雄 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		分子細胞生物学特論 生物学演習 薬科学特別研究
専	講師	山本 誠士 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		解剖生理病態学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	恒枝 宏史 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		薬理学特論 薬科学特別研究
専	准教授	當銘 一文 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用天然物化学序論 応用和漢医薬学序論 応用天然物化学特論 資源科学演習 薬科学特別研究
専	准教授	AWALE SURESH ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		応用天然物化学序論 応用天然物化学特論 薬科学特別研究
専	准教授	東田 道久 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		応用和漢医薬学序論 薬科学特別研究
専	准教授	渡辺 志朗 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		分子細胞生物学序論 薬科学特別研究
専	准教授	奥 牧人 ＜令和4年4月＞ 博士(情報理工学)
		データサイエンス特論 薬科学特別研究
専	准教授	片桐 達雄 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		分子細胞生物学特論 生物学演習 薬科学特別研究
専	講師	山本 誠士 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		解剖生理病態学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	城宝 秀司 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	講師	柚木 達也 ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
専	講師	西山 直隆 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	講師	三澤 恵 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究
専	講師	樋口 悠子 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	講師	古市 厚志 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	講師	奥村 知之 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	講師	三原 美晴 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	城宝 秀司 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	講師	柚木 達也 ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
専	講師	西山 直隆 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	講師	三澤 恵 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究
専	講師	樋口 悠子 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	講師	古市 厚志 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	講師	奥村 知之 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
専	講師	三原 美晴 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	和田 努 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬理学特論 薬科学特別研究
専	助教	竹内 勇一 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		解剖生理病態学序論
専	助教	野本 真順 ＜令和4年4月＞ 博士(バイオサイエンス)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論
専	助教	NAWAZ ALLHA ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		病態薬理学序論 病態薬理学特論
専	助教	夜久 圭介 ＜令和4年4月＞ 博士(生活科学)
		病態薬理学序論 病態薬理学特論
専	助教	箭原 康人 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		病態薬理学序論 病態薬理学特論
兼任	教授	奥寺 敬 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		救急看護演習
兼任	教授	山城 清二 ＜令和4年4月＞ 疫学修士
		フィジカルアセスメント 臨床推論Ⅰ
兼任	教授	宮島 光志 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		研究倫理 看護倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	和田 努 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬理学特論 薬科学特別研究
専	助教	竹内 勇一 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		解剖生理病態学序論
専	助教	野本 真順 ＜令和4年4月＞ 博士(バイオサイエンス)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論
専	助教	NAWAZ ALLHA ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		病態薬理学序論 病態薬理学特論
専	助教	夜久 圭介 ＜令和4年4月＞ 博士(生活科学)
		病態薬理学序論 病態薬理学特論
兼任	教授	奥寺 敬 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		救急看護演習
兼任	教授	山城 清二 ＜令和4年4月＞ 疫学修士
		フィジカルアセスメント 臨床推論Ⅰ プライマリ・ケア特論
兼任	教授	宮島 光志 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		研究倫理 看護倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	豊岡 尚樹 <令和4年4月> 薬学博士
		研究倫理 データサイエンス特論
兼任	教授	上原 雄史 <令和4年4月> 修士(工学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	張 勁 <令和4年4月> 博士(理学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	龍 世祥 <令和4年4月> 博士(学術)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	和田 直也 <令和4年4月> 博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	山崎 けい子 <令和4年4月> Master of Science in Education (M.S.Ed.) degree. (米国)
		研究者としてのコミュニケー ション: 基礎と応用
兼任	教授	内田 和美 <令和4年4月> 芸術学士
		研究者としてのコミュニケー ション: 基礎と応用 アート・デザイン思考
兼任	教授	モヴシュク オレクサンダー <令和4年4月> 博士(経済学)
		データサイエンス特論
兼任	教授	藤田 安啓 <令和4年4月> 学術博士
		データサイエンス特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	豊岡 尚樹 <令和4年4月> 薬学博士
		研究倫理 データサイエンス特論
兼任	教授	上原 雄史 <令和4年4月> 修士(工学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	張 勁 <令和4年4月> 博士(理学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	龍 世祥 <令和4年4月> 博士(学術)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	和田 直也 <令和4年4月> 博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	山崎 けい子 <令和4年4月> Master of Science in Education (M.S.Ed.) degree. (米国)
		研究者としてのコミュニケー ション: 基礎と応用
兼任	教授	内田 和美 <令和4年4月> 芸術学士
		研究者としてのコミュニケー ション: 基礎と応用 アート・デザイン思考
兼任	教授	モヴシュク オレクサン ダー <令和4年4月> 博士(経済学)
		データサイエンス特論
兼任	教授	藤田 安啓 <令和4年4月> 学術博士
		データサイエンス特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 和之 <令和4年4月> 修士(経済学)
		大学院生のためのキャリア形成
兼任	教授	田端 俊英 <令和4年4月> 博士(医学)
		英語論文作成 I 英語論文作成 II 知的財産法
兼任	教授	井上 将彦 <令和4年4月> 工学博士
		薬学経済序論
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <令和4年4月> 博士(学術)
		日本語・日本文化
兼任	准教授	石木 学 <令和4年4月> 博士(医学)
		疾病・臨床病態概論 アドバンスプラクティス実習 I
兼任	准教授	沖野 浩二 <令和4年4月> 修士(工学)
		研究倫理
兼任	准教授	池田 文佑 <令和4年4月> 博士(国際公共政策)
		科学技術と持続可能社会
兼任	准教授	野田 秀孝 <令和4年4月> 修士(福祉マネジメント)
		地域共生社会特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 和之 <令和4年4月> 修士(経済学)
		大学院生のためのキャリア形成
兼任	教授	田端 俊英 <令和4年4月> 博士(医学)
		知的財産法
兼任	教授	井上 将彦 <令和4年4月> 工学博士
		薬学経済序論
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <令和4年4月> 博士(学術)
		日本語・日本文化
兼任	教授	高村 昭輝 <令和4年4月> 博士(医学)
		プライマリ・ケア特論
兼任	准教授	石木 学 <令和4年4月> 博士(医学)
		疾病・臨床病態概論 アドバンスプラクティス実習 I
兼任	准教授	沖野 浩二 <令和4年4月> 修士(工学)
		研究倫理
兼任	准教授	池田 文佑 <令和4年4月> 博士(国際公共政策)
		科学技術と持続可能社会
兼任	准教授	野田 秀孝 <令和4年4月> 修士(福祉マネジメント)
		地域共生社会特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	有田 行男 ＜令和4年4月＞ 修士(芸術工学)
		アート・デザイン思考
兼任	准教授	春木 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス特論
兼任	准教授	参沢 匡将 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス特論
兼任	准教授	長岡 亮 ＜令和4年4月＞ 博士(医工学)
		データサイエンス特論
兼任	准教授	尾山 真 ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 大学院生のためのキャリア形成
兼任	講師	澤 聡美 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		心身健康科学
兼任	講師	松田 愛 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	長田 堅二郎 ＜令和4年4月＞ 修士(美術学)
		アート・デザイン思考

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	有田 行男 ＜令和4年4月＞ 修士(芸術工学)
		アート・デザイン思考
兼任	准教授	春木 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス特論
兼任	准教授	参沢 匡将 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス特論
兼任	准教授	長岡 亮 ＜令和4年4月＞ 博士(医工学)
		データサイエンス特論
兼任	准教授	尾山 真 ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 大学院生のためのキャリア形成
兼任	准教授	吉川(仲村) 朋子 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		英語論文作成Ⅰ 英語論文作成Ⅱ
兼任	講師	澤 聡美 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		心身健康科学
兼任	講師	松田 愛 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	長田 堅二郎 ＜令和4年4月＞ 修士(美術学)
		アート・デザイン思考

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 知久 <令和4年4月> 修士(芸術工学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	藪谷 祐介 <令和4年4月> 博士(デザイン学)
		アート・デザイン思考
兼任	助教	朴木 久恵 <令和4年4月> 学士(医学)
		アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス総合実習
兼任	助教	小池 勤 <令和4年4月> 博士(医学)
		アドバンスプラクティス特論Ⅱ アドバンスプラクティス演習Ⅱ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
兼任	助教	川上 正晃 <令和4年4月> 博士(医学)
		アドバンスプラクティス特論Ⅱ アドバンスプラクティス演習Ⅱ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
兼任	助教	Shishir Sharmin <令和4年4月> 博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	中村 征樹 <令和4年4月> 博士(学術)
		研究倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 知久 <令和4年4月> 修士(芸術工学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	藪谷 祐介 <令和4年4月> 博士(デザイン学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	朴 銀鏡 <令和4年4月> Ph. D. (高エネルギー物理学)
		英語論文作成Ⅰ 英語論文作成Ⅱ
兼任	助教	朴木 久恵 <令和4年4月> 学士(医学)
		アドバンスプラクティス実習Ⅰ アドバンスプラクティス総合実習
兼任	助教	小池 勤 <令和4年4月> 博士(医学)
		アドバンスプラクティス特論Ⅱ アドバンスプラクティス演習Ⅱ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
兼任	助教	川上 正晃 <令和4年4月> 博士(医学)
		アドバンスプラクティス特論Ⅱ アドバンスプラクティス演習Ⅱ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実習
兼任	助教	Shishir Sharmin <令和4年4月> 博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	中村 征樹 <令和4年4月> 博士(学術)
		研究倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岸本 充生 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	平川 秀幸 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	山崎 登志成 ＜令和4年4月＞ 工学博士
		英語論文作成Ⅰ 英語論文作成Ⅱ
兼任	講師	大谷 嘉一 ＜令和4年4月＞ 工学士
		知的財産法
兼任	講師	赤坂 彰彦 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		知的財産法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岸本 充生 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	平川 秀幸 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	大谷 嘉一 ＜令和4年4月＞ 工学士
		知的財産法
兼任	講師	赤坂 彰彦 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		知的財産法

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

・授業科目の見直しにより、中川 嘉の担当科目名を変更。 ・教員の異動により、八木 邦公、南部 寿則、箭原 康人、山崎 登志成を削除。 ・担当科目の見直しにより、加藤 敦、若杉 雅浩、山田 理絵、山城 清二、田端 俊英の担当科目を変更。 ・担当科目の見直しにより、高村 昭輝、吉川（仲村）朋子、朴 銀鏡を兼任教員に追加。
--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
10	7	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
68	50	10	5	133	0	68	48	10	4	130	0
(68)	(48)	(10)	(4)	(130)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
70	37	26				70	35	25			
(70)	(35)	(26)	/			/					
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
71	50	10	10	141	0	71	51	10	10	142	0
[3]	[0]	[0]	[5]	[8]	[0]	[3]	[1]	[0]	[5]	[9]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
74	62	5				74	63	5			
[4]	[25]	[Δ21]	/			/					

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、**認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、**
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{141}{133} = \boxed{106.01} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{130} = \boxed{0.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	八木 邦公	R4.3	必修	基礎臨床医科学概論	①	R4.3退職のため就任辞退（4）			
				選択	高度先進医療実践学序論	①				
				必修	先端医科学特別研究	①				
				選択	アドバンスプラクティス実習Ⅰ	①				
2	准教授	南部 寿則	R4.3	選択	分子化学序論	①	R4.3退職のため就任辞退（4）			
				必修	薬科学特別研究	①				
3	助教	箭原 康人	R4.3	選択	病態薬理学序論	①	R4.3退職のため就任辞退（4）			
				選択	病態薬理学特論	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
3 人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{133} = \boxed{2.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ やむを得ない事由による専任教員の交代について、学生の履修への影響が最小限となるよう、他の専任教員が同科目を担当している。
- ・ 専任教員交代について、学生に対してはシラバスや時間割等により周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合医薬学研究科 総合医薬学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>・取得可能な資格 看護科学プログラムにおいて、次の民間資格の受験資格が取得可能である。</p> <p>ナースプラクティショナー（NP） ①民間資格（日本NP教育大学院協議会）、②受験資格が取得可能、③看護科学プログラム（修士課程）の修了要件単位に含まれる科目の履修</p>	<p>看護科学プログラム（NPコース）については、厚生労働省が指定する「特定行為研修指定研修機関」に必要な要件をすべて満たすことができなかったことから、当該プログラムを修了しても、ナースプラクティショナー（NP）の受験資格を取得できない状態となっている。</p> <p>本件については、未充足の要件を満たすため、速やかに（令和4年5月）追加申請を行っており、令和4年10月入学者からはNPの受験資格を取得できよう指定を受ける見込みである。</p> <p>なお、令和4年4月入学に係る入試において、出願者がいなかったことから、現時点において、NPコースへの在籍者はおらず、学生に不利益は生じていない。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD活動を中心とした教育内容改善のための組織的な研修については、総合医薬学研究科医学教務委員会、総合医薬学研究科看護学教務委員会及び総合医薬学研究科薬学教務委員会が主として所管するものであり、これら各教務委員会は大学院改組の令和4年4月1日に設置済みである。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 各教務委員会の開催状況について述べる。 総合医薬学研究科医学教務委員会（1か月あたり2回程度）委員の出席率は平均81.3%である。 総合医薬学研究科看護学教務委員会（1か月あたり1回程度）委員は全員出席している。 総合医薬学研究科薬学教務委員会（1か月あたり1回程度）委員は全員出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 各教務委員会の審議事項は次のとおりである。教員の資質の維持向上は（4）に含まれる。 （1）教務に関すること。 （2）学生生活に関すること。 （3）入学者選抜に関すること。 （4）その他学生の教育に関すること。</p>

② 実施状況

- a 実施内容
- b 実施方法
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）についてはこれから計画・審議する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートについては改組前から取り組んできており、総合医薬学研究科においても実施する予定である。なお、実施時期は学期末を予定している。

- b 教員や学生への公開状況、方法等

今後検討を予定している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、必要な教員配置及び授業科目の開設等を行うことで、令和4年4月に総合医薬学研究科総合医薬学専攻を設置した。開設以降、教育活動は順調に行われていると考えており、引き続き、さらなる充実・発展を目指していきたい。

なお、設置申請時に作成した「設置の趣旨等を記載した書類」を本学のウェブサイトに掲載するとともに、人材養成目的や教育課程等に関する要点を記載した当該研究科のウェブサイトを新たに作成・公開し、学生等への周知を図っている。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期

・令和4年度中に公表

- b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和4年度中に公開）

③ 認証評価を受ける計画

・令和6年に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。